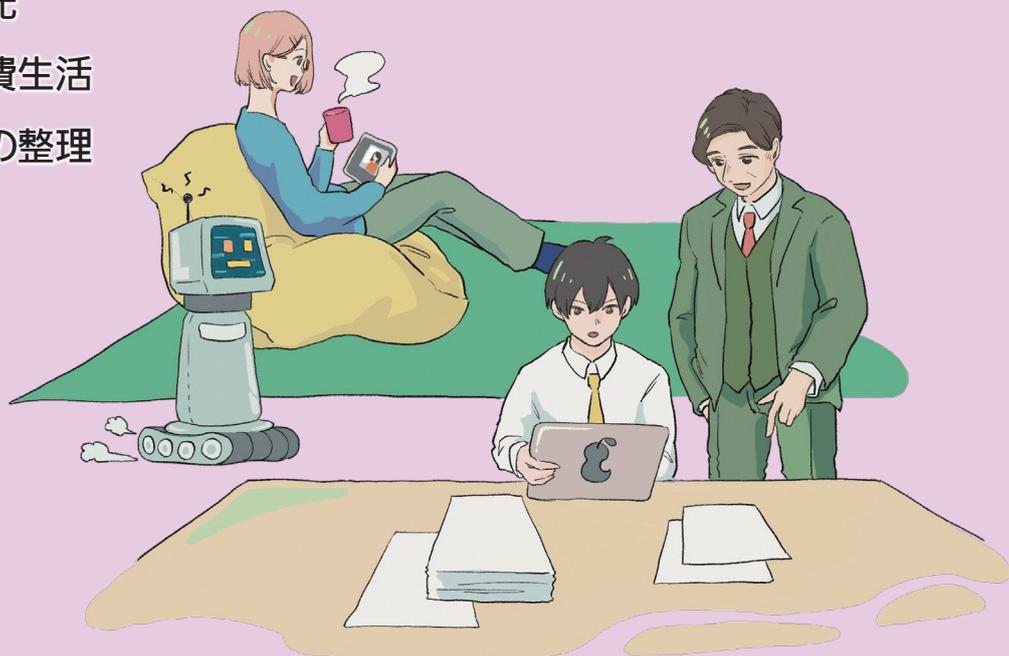




第3章

豊島区の現状と課題

- 1 豊島区の概況
- 2 豊島区の企業動向
- 3 豊島区のまちと商店街
- 4 豊島区の就労に関する状況
- 5 豊島区の観光
- 6 豊島区の消費生活
- 7 現状と課題の整理



1 豊島区の概況

(1) 人口動向

豊島区の総人口は、平成9(1997)年以降増加傾向、今後も増加が続く見込み

豊島区の人口は、令和6(2024)年で291,650人、世帯数は184,969世帯となっており、人口については平成9(1997)年を底に、一時的な減少期間はあるものの、増加傾向にあります。将来推計では、令和7(2025)年以降も緩やかな人口増加傾向が続く見込みです。

また、令和5(2023)年1月現在の区の人口密度は22,191人/k㎡となっており、全国一の高さを維持しています。

■豊島区の人口および世帯数の推移■



(出典)
豊島区「としまの統計」、
2025年以降は国立社会保障・
人口問題研究所
「日本の地域別将来推計
令和5(2023)年推計」より作成

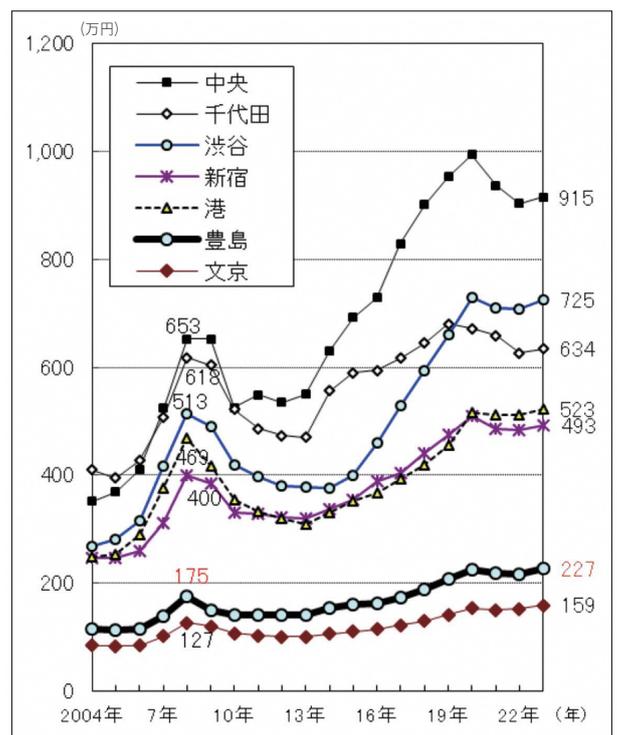
(2) 土地と交通

商業地の地価は平成26(2014)年以降、緩やかに上昇

平成17(2005)年まで減少を続けてきた豊島区の商業地の地価は、平成19(2007)年、20(2008)年に上昇しましたが、平成20(2008)年以降の世界的な金融危機と経済悪化の影響を受け下落しました。その後、景気の回復とともに平成26(2014)年からは上昇が続き、令和5(2023)年では227万円となっています。

区の商業地の地価公示平均価格は、23区中6番目に高い価格となっています。

■地価公示平均価格(商業地)■

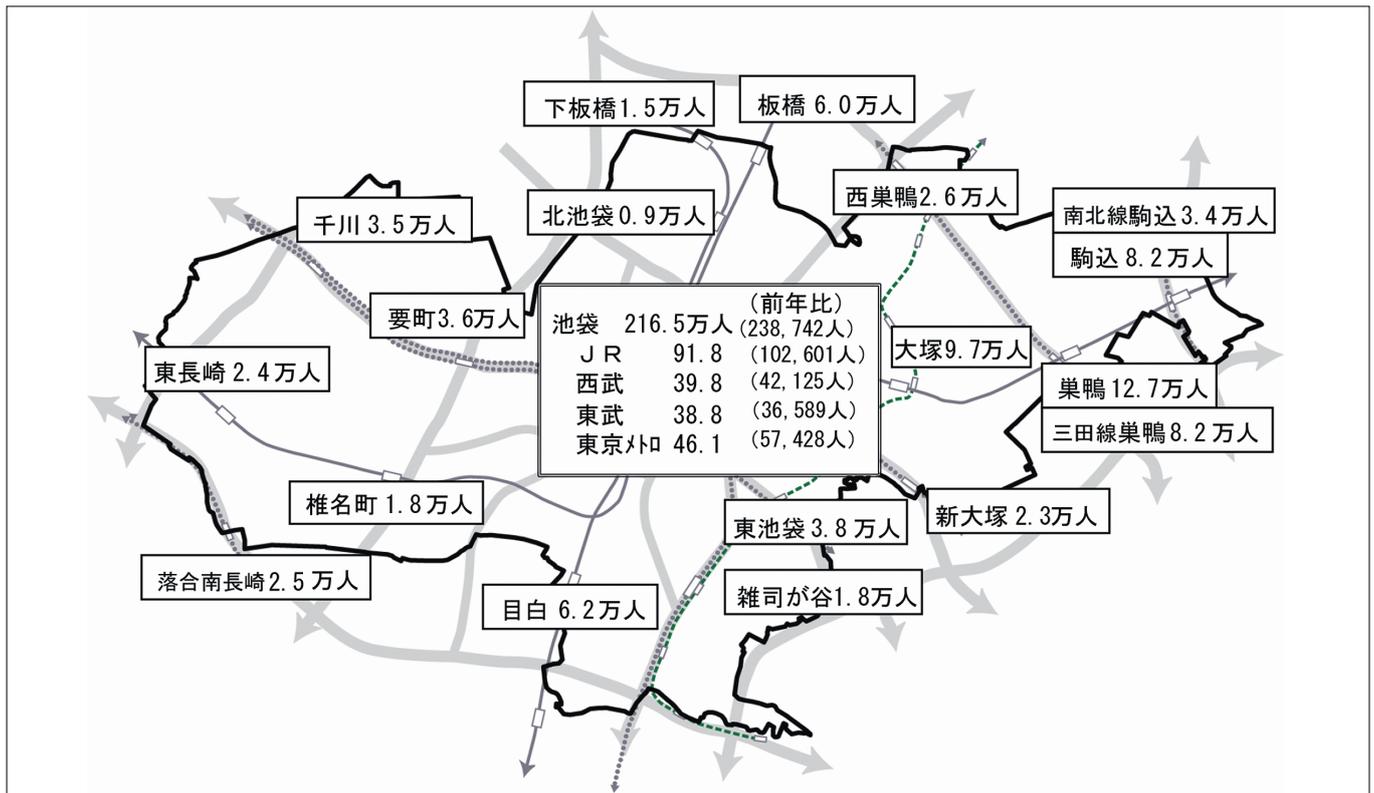


(出典)豊島区「としま政策データブック2023」

池袋駅は都内主要駅の中で3位の乗降客数

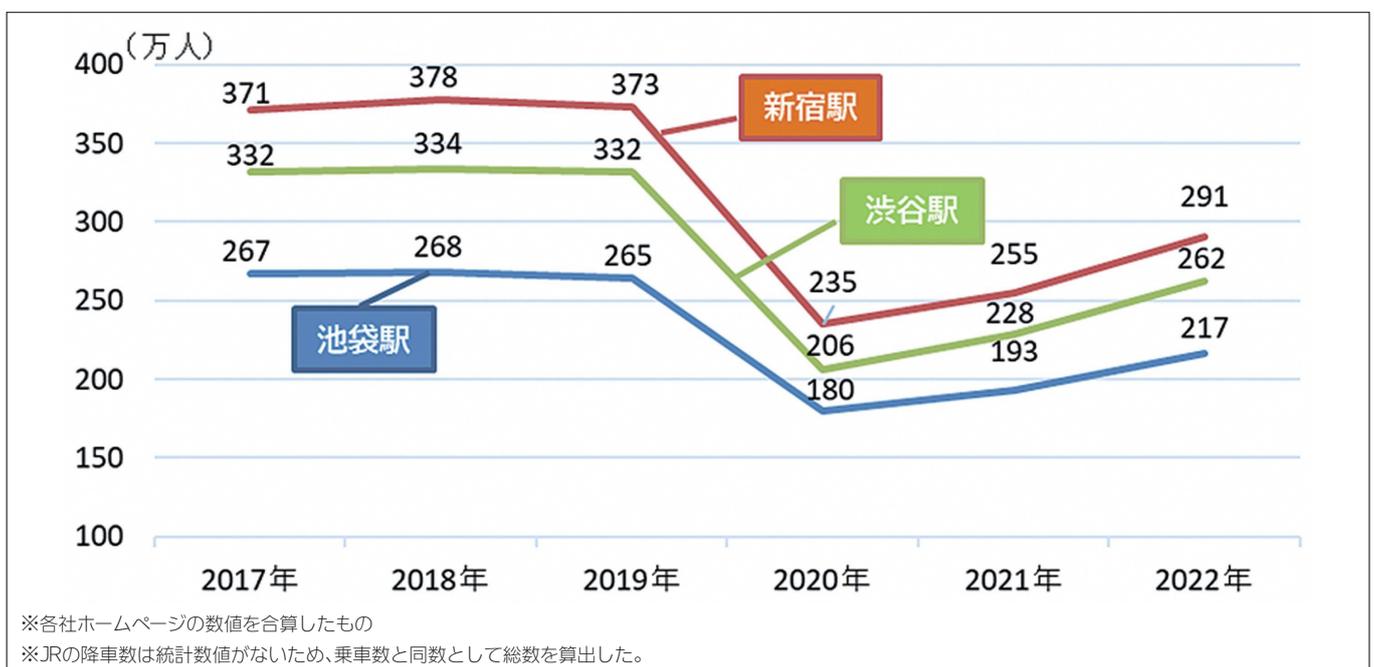
豊島区は 23 区の北西部に位置し、巨大ターミナル池袋駅をはじめ多くの鉄道駅を有しています。埼玉県からの鉄道路線の乗り入れも多く、JR、私鉄、地下鉄が区内を網目状に走る交通利便性の高いまちです。中でも池袋駅は、都内主要駅の中で、新宿駅、渋谷駅に次ぐ乗降客数を誇ります。

■豊島区内各駅の一日常乗降客数■



(出典)豊島区「としま政策データブック2024」

■都内主要駅における一日常乗降客数の推移■



(出典)各社ホームページより作成